

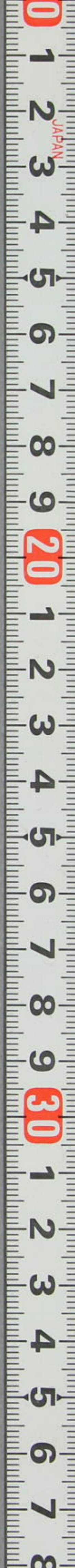
府縣  
施政順序  
奉職規則

服部文庫

イ 17

2189

48



府縣施政順序

一 知府縣事<sup>ニ</sup>職掌ノ大規則ヲ示ス事

地方ノ官府縣ノ三治ニ歸スニ治ノ政一途ナ  
ルハキ根柢ヲ示シ而布告アルト雖未一定規則法  
トスルハキ無キ故府縣ノ治初モスレハ政令一ナラ  
ス下民疑惑ヲ生ズルニ至ル亦宜ナリ實ニ大政隆替  
ニ關係スル所宜ク令ヲ布キ一途ナラシムヘシ是ヲ  
即今大急務トス

一 平年租税ノ高ヲ量リ其府縣定費ヲ定ムル事

會計官ノ大急務量入為出ノ基本トス

一 議事ノ法ヲ立ル事

従前ノ規則ヲ改正シ又新ニ法制ヲ造作スル等  
テ衆議ヲ擇ミ公平ニ論ニ歸シ着々ニ衆庶ノ情

ニ悖戾セス民心ヲシテ安堵セシムルヲ要ス

一戸籍編制戸伍組立ノ事

戸口多寡考テ知ルハ人民繁否育ノ基戸伍ヲ組ハ  
衆庶協和ニ本タリ宜ク京都府ニテ編立スル支  
ノ制度ニ倣フヘシ

一地圖ヲ精敷スル事

郡内市街ノ界ヲ四クハ生産ヲ富殖スル基ナリ亦忽  
ニスハカラサルヲ要ス

一凶荒豫防ノ事

常社会倉等ノ制ニ倣ヒ其郡内ノ人口ヲ量リ凶年非  
常救助ニ備ル極漸次ニ取テルヲ要ス

一賞典ヲ舉ル事

忠孝節義篤行ノ者ヲ旌表シテ養典ヲ行ヒ風俗

一制度ヲ立風俗ヲ正ス事

ヲ敦クセシテ要ス貧民高ニ等アリ救助ノ道隨テ  
一ナラス宜シク三等ヲ分テ以テ救助ヲ立漸次ニ減  
サスルヲ至ルヲ要ス一貧民院養院病院等其所  
費部内設ル所ニ市街郡村ノ戸口割賦シ多クハ  
公金ヲ費サレヘシ其施設ノ法ニ至テハ最モ審慮  
熟計スヘシ

一小學校ヲ設ル事

善ヲ勸メ惡ヲ懲シ華美奢侈ヲ禁シ儉素質  
朴ヲ尚ヒ人民ヲシテ各其所ヲ得其業ヲ勉メシム  
ルヲ要ス是繁育ノ基トス

専ラ書字素讀算術ヲ習ハシメ願書ノ簡記牒  
算勘等其用ヲ闡サレムヘシ又時ニ講後ヲ以國體

時勢ヲ弁ハ忠孝ノ道ヲ知ヘキ格致論ニ風俗ヲ敦  
クスルヲ要ス最村落<sup>チノ</sup>學究ニ秀テ學業を達ス者其  
志ヲ要スヲ遂ケムヘシ

一 地力ヲ興シ富國ノ道ヲ開ク事

開墾水利運輸種樹牛馬繁蓄お生産ヲ富  
殖スルヲ講究シ低テ眼ヲ高志ニ着實ニ施行ス  
ヲ要ス

一 商法ヲ成シニ漸次商税ヲ取立ル事

上下利ヲ争テ弊ヲ戒メ人民撫育ニ着眼シ其利  
ヲ與ハ漸次ニ税法ヲ定メ大成スルヲ要ス敢テ道  
小利ニ馳セ速功ヲ得シ為メ苛政アルヲ嚴禁ス

一 租税ノ制度改正スルハキ事

地多ク係土地ニ不相當ニ分有ク候今ノ前ノ肥

土多ク昔今ノ瘠キナリ前ノ瘠キニ昔今ノ肥キナ  
ルアリテ古事ノ定額ヲ以其租税ヲ論スニ大ニ幸  
不幸不當アリ之カ為メニ貧村ハ法府民多ク人口  
年月ニ成ス富村ハ法府民少ク人口年月ニ増ス  
充民之情可憐ノ至ナリ然レ其改正ニ容易ナ  
ラ下スヘカラス詳細檢地石盛ニ以テ味ヲ取リ以テ  
其宜ニ處スルニ敢テ官府ニ利スルニ非ズ其貧富  
得失ヲ平均スル法ナリ詳ニ能ク講究セシメテ要ス  
右施設ノ大綱ナリ其條目ニ著テ詳細檢地録スル  
令ヲシテハ易ク事ヲ舉ル難シ着實手ヲ下スヲ  
要ス故ニ三件施行シ稍其事ノ舉ルヲ見テ又次  
件ニ及ヒシ一時平易ニ施行スルヲ禁ム最其表凡  
俗ニ因リ各其宜ヲ異ス必順序ニ拘泥スヘカラス

全仿スルヲ要ス

一 施政之始メ切ニ戒ムヘキハ聚斂ナリ民心未定ニ租税ヲ豫  
スレハ忽チ疑惑ヲ生ズ故ニ租税ニ至ルハ君民ニ手ヲ下ス  
シ大綱カニ件ニ租税ニ至ラザルニ記スル者其母ノ心  
入ラ知テ費用ヲ節スルヲ与トス故テ又費ヲ計テ租税  
ヲ高底スルニハアラカルナリ未ダ改正ニ至ルヲ出スヲ以テ  
知ルヘシ

一 衆庶ト共ニ議スルハ衆論中ニ至當ノ様ヲ選擇スル  
ヲ要ス君ノ議論ノ多キニ隨ヒ少ク控ヒテ欲セハ強  
ノ害ヲ生シ施政ハアルヘカラス故ニ大綱ニ議事ヲ  
起スト云ハスシテ議事ニ法ヲ立ント云此程多ク取  
返論ヲ要ス

一 慶賀ノ政ノ大柄ニ至テ備置ス可カラズ大綱ニ歩曲ラ

舉ルトアリテ刑曲ニ至ルハ實仁ニ

一 廠旨ヲ奉キシ賞ヲ先ニシテ罰ヲ後ニシ隨テ教化ヲ  
布キ刑スヘキノ民ナカラシムヲ希也然レ共害ヲ除ク  
事ハ政治ニ於テ石ツテ欠ノ要アリ故ニ德悪ノ下ノ  
制度ヲ立ル件ノ内ニ含サ蓄ス

一 租税之制度及政令ノ時ニ隨テ物論起スルノ  
ハシ多クハ富民ハ田畑ヲ煽搥スルニ出ツ何トナト貧民  
ハ田畑ナシ必ズ貧民ノ有ラ借ル今低石ヲ高石ニ改シ  
ハ必貧民ヨリ富民ニ輸テ所ノ租税ヲ増ス又高石ヲ  
低石ニ改ルニ至テハ更ニ富民ニ取ル所租税ヲ減スル  
每キニヨルヘシ此布ノ情實情細ニ探察シ區別決果  
セシヲ要ス

右ノ件ニ大綱ニ追加スルハ施政ノ下令必其始ヲ情ム



其考ヲ致するも有常と古長先者能く心ヲ用ふ一  
一 猶今必其始に情ヲ抑民信ヲ失フヘカラス  
事法ヲ審ミシテ借借アルヘカラス

所由世々規ヲ創之也或は法本之法刑ヲ改制  
セシト欲其土地民俗ヲ知シ先部内之命係  
ラるも公口之偏ヲ採リ制其節何出其法ヲ受  
クハ私之法ヲ立制ヲ改ル事ヲ禁ム尤改令ヲ  
承順之規々小法則ヲ立ル此法ニカハラス施  
行の後届出ヘシ

所由者亦義ヲ馬リノ常典ニ先之由ホハ常  
命係リ口口ニ事ヲ行スハ尤承代及生身ノ代  
苗字帯カテ免許スルホ重責ヲ詳ト其人ノ地帯ヲ  
記シ民部者、何出其決ヲ受ヘシ勅行年苗字帯

カラ免許シ其化金教オハ興フルノ程責ニ其名物ニ  
委任スヘシ

附死罪ノ重刑ニ罪多クハ刑形ホ、何至其決ヲ  
受クハ其以下所犯、委任ニ控訴アリトモ標ニ取  
行時ニ必懲悪ノ是ヲ失フ耳ト云々民人ノ面首圖  
係ス詳而控訴スルヲ要ス

一 古田畑ヲ不怠培美シホ土地ヲ開墾ニ山野向海  
ノ利ヲ興シ生々産富強ニ庶民職業ヲ勉勵繁  
成ニナシムヘシ

附農者田畑永代賣リ傳是ル常制ニ法リ多民  
ニテモ田畑ニ難シテ良制ヲ之スハ所由皆地讓  
返シホホ分ヲ付テ生々産其法ニ熟考スヘシ  
附土地ヲ開墾シ水利ヲ改良スルホ所由地取

なる事、陸奥而并入費積り書つ以て民部省  
に出其決り受へし

一常山年饑字々之患ヲテ之豫メ民患賑濟之備  
ヲ設くへし

此はノ脱カ

陸奥省孤獨廢疾多々之窮民ハ常々會談ヲ  
爲し亦之救助スレシ迄テ一時ノ賑恤ニ能ス年月ヲ  
経ル救助之其仕法ヲ記シ民部省へ出其決り法  
唯所願者盡ク其年々多民減少ナラシムルヲ要ス尤  
天災初起ニテ一日モ遷正ニ難キ賑恤此法ニ拘  
ラス速ニ振付テ後民部省大飛出出届出

一堤防橋梁之修之修居者ハハカラス常々其得失  
ヲ検査シ陸奥而并積書ヲ以テ民部省へ出其決

ラ交控既叙ノ所叙ニ任ズル堀割ハ水利  
ヲ興シ之亦之管轄不交スル治河ハ時々其當者  
ヨリ出張ニ去地方官ノ教力振付スル事

但天災飛出常々之修換一日モ遷正ニ難キ此例ニ  
能ス其以下預少ノ修居ホシ迄テ其有能ハ其  
任之出届出

一脚邊今馬利及法信洲坊邊ホ多ク其文ノ命ハ  
洋和ハ使之上民部省へ出其決り受へし民ノ  
疾苦ノ感ハ旅人ニ直リ便ナラシム

一租税之定額ヲ陸奥ニ亦之蠲除スル等若林ホ  
似事者亦不常ノ事或天災初起ノ事ハ之詳  
細事ヲ記シ大飛出者何出其決り受へし  
但格見ハ格外ノ事案ヲ改正シ公事通シ



以下五事云云

- 一 歳入租税の部内費用定額一切の納付を中止せしむ
- 一 納付の租税を全額引替へりて嚴禁す
- 一 租税の免除を以て嚴禁す
- 一 廢毀の事多し其の如何に決すべし
- 一 刑罰の如何に決すべし
- 一 官費の如何に決すべし

其の如何に決すべし  
 刑罰の如何に決すべし  
 官費の如何に決すべし  
 廢毀の如何に決すべし  
 租税の如何に決すべし

此の如き事柄は、  
 租税の如何に決すべし  
 刑罰の如何に決すべし  
 官費の如何に決すべし  
 廢毀の如何に決すべし  
 租税の如何に決すべし

七月

太政官

此原本施政原序ノ系ノ録白ニ認リ何レノ縣ニヤ大抵縣ノ模様ヲ見ル

石七万余

知事

大倉了子

少佐 佐々木

大属 山田史生志

警部 佐藤

仕丁 捕亡共

惣計 人員 四拾三人

常備金 〇

中一

千九百五拾五

中二

二千五百

一人

一人

二人

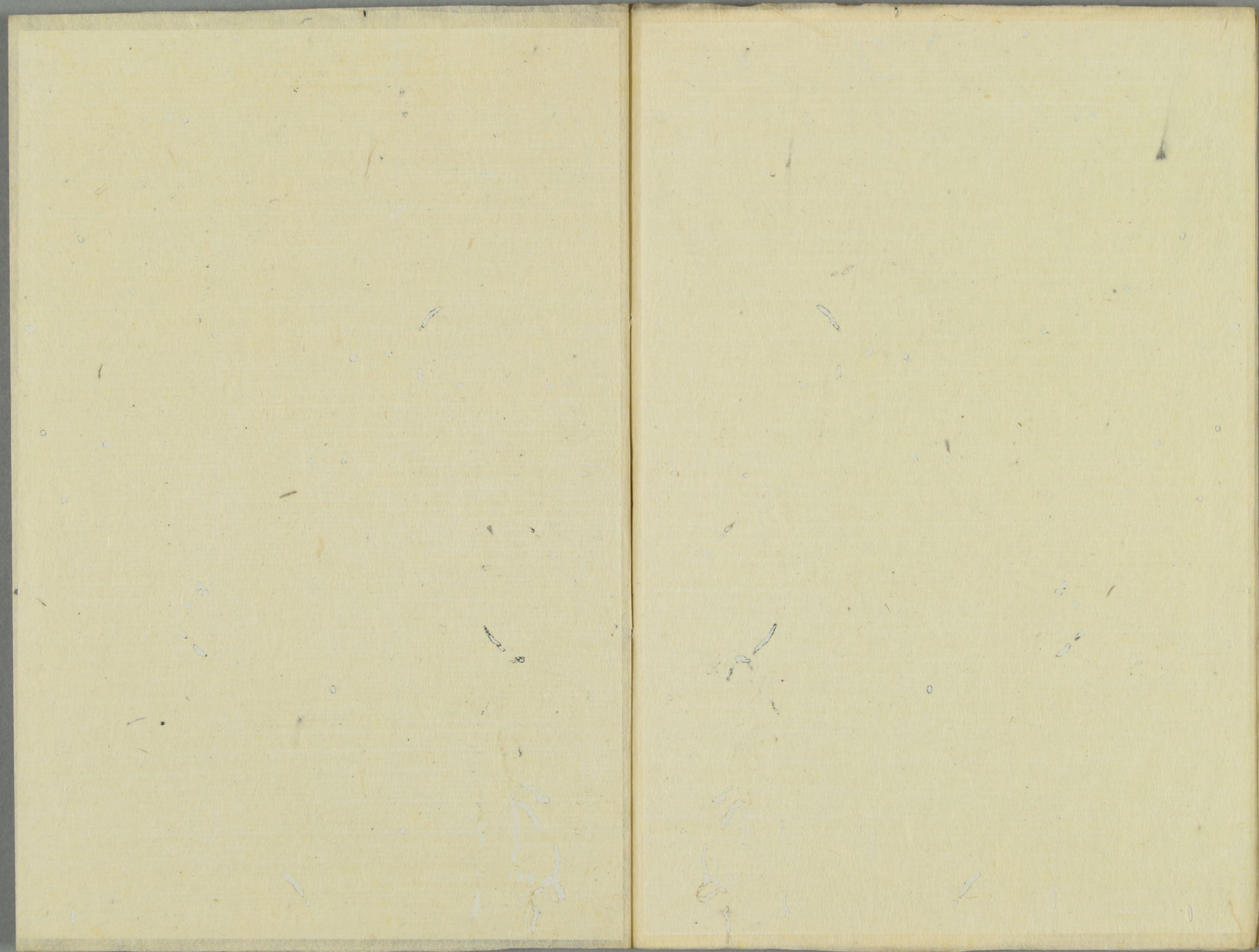
三十五人

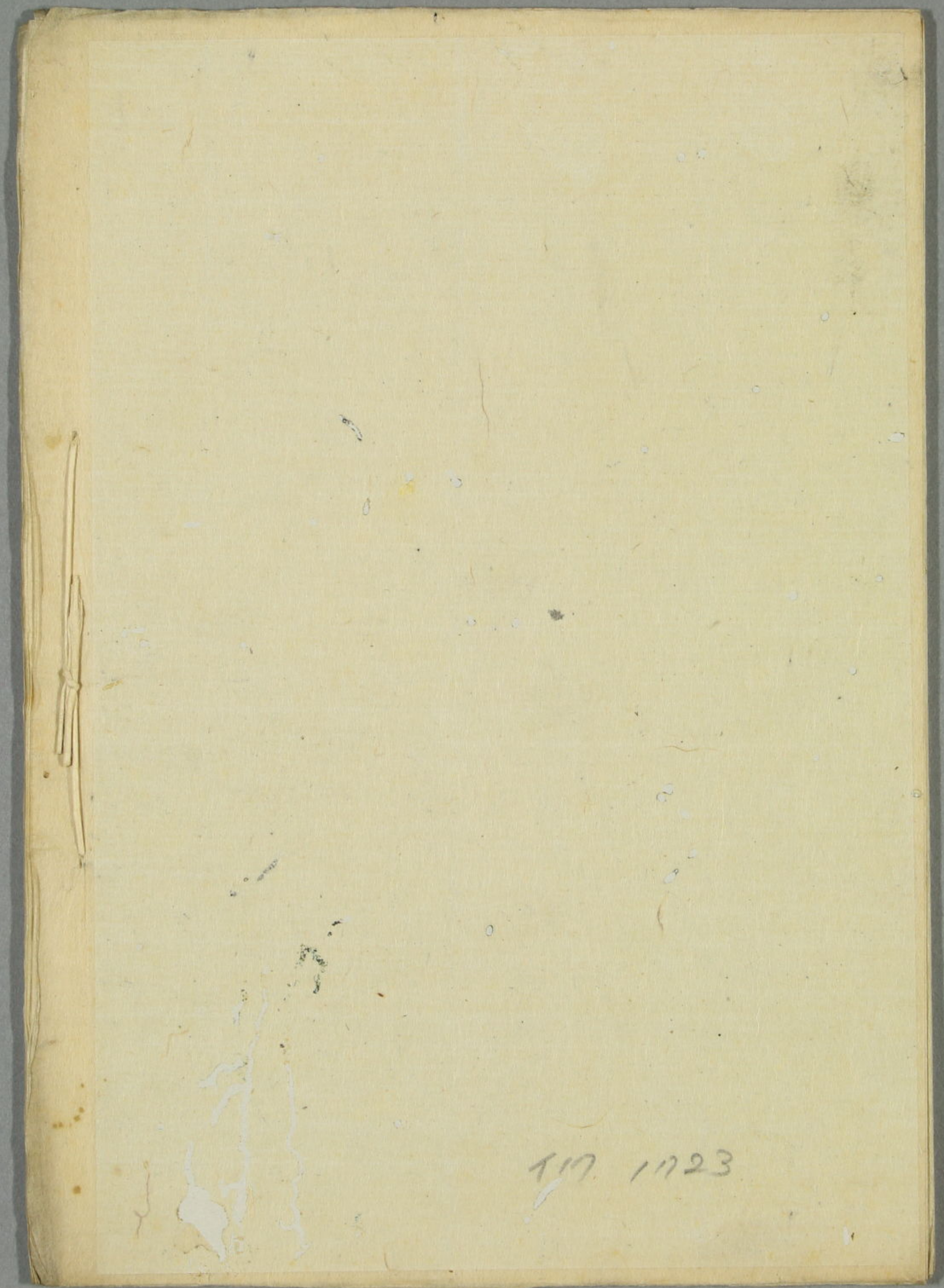
二人

二人

出張所 栲川

五千五百五拾五  
二〇ノ壹七ノ五拾五





117. 1723